

## リアルの効能

日本貿易振興機構（JETRO）香港事務所 所長 杉山 玲子

私がJETRO香港の所長として着任して半年が過ぎようとしている。仕事柄この半年間で日本から来訪される日本企業や自治体の方々とお会いする機会が多くあった。その中でよく耳にするのは、「来てみて驚いた」とか「シンガポールとの違いは？」といったものだ。飛龍読者の多くは香港とのゆかりが深い方々なので、この感想や質問には戸惑いを感じるだろう。されど、かく言う私も赴任前までは香港とはあまり接点のない道を歩んできていたので、彼らの質問に共感している自分がいた。しかし半年も過ぎてくると見慣れた風景と見慣れた習慣に思えてくる。私はJETROの業務で、日本の、特に中小企業の海外展開をご支援してきたが、ビジネスチャンスは、この「驚き」の中にあるのではないかと思う。日本の企業は日本国内という熾烈な競争環境で切磋琢磨したお陰で、かなり精度の高いサービスや商品をお持ちだ。でも日本ではそれが普通である。一度、海外に目を向けると多くのことが「普通」ではないことに気がつき驚くだろう。この驚きが大切なのだと思う。驚きは発見につながり、そこにビジネスチャンス、ビジネスの種がある。その驚き&発見は、日本には見出せないものであり、そしてリアルでないとなかなか見つけられないものだ。見て触って感じて聞いて嗅いで味わってと、五感をフル活動することが必要だ。だが、残念ながら日本から香港への人流は、まだコロナ禍前までの水準には戻っていないという。ちょっと、もったいないと思う。

JETRO香港では日本政府の政策実行機関として、日本企業とりわけ中堅中小企業の海外展開のご支援をさせ



ていただいている。オンラインの発展で、つい、わかったような気分になりがちな昨今。香港にいるJETROだからこそ提供できる「驚き」や「発見」のきっかけになるようなビジネス関連情報の発信や、日本食品の輸出支援や香港企業の日本拠点展開支援など、日本と香港の経済関係強化につながるプログラムを実施している。それらを通じて日本企業の皆さんが、香港をリアルに見るきっかけになればと思う。

ちなみに、私が香港に来た当初、最も驚いたのは、香港の人達の日本への「愛」と「信頼」の高さである。「え？そんなこと?!」と思ったあなた。この愛と信頼も、日本と香港の多くの先人たちの長く深く広い「リアル」関係の上にあるものだ。それが消えないよう、今日、明日、明後日のリアルを積み重ねていきたい。

2025年5月発行（禁断転載）

### 目次

|  |    |
|--|----|
| リアルの効能                                   | 1  |
| 映画《九龍城寨之圍城》の魅力と成功の秘密に迫る！                 | 2  |
| 各界で活躍する香港日本人学校OB・OG 第7回                  | 4  |
| 私と香港ビジネス                                 | 6  |
| 連合会・各協会便り                                |    |
| 全 国：香港経済貿易代表部がレセプション2025を東京で開催           | 7  |
| 東 京：第24回NPO法人日本香港協会総会報告                  | 8  |
| 関 西：香港フォーラム参加<br>チャイニーズ・ニュー・イヤヤー・パーティー開催 | 9  |
| 中 部：新年情報交換会開催報告／第25回香港フォーラム参加報告          | 10 |
| 九 州：香港とのつながりを祝う春節セミナー&パーティー2025          | 11 |
| 山 形：総会・理事会、春節セミナー・レセプション開催               | 12 |

|  |    |
|--|----|
| 北海道：春節のついで2025開催<br>北海道日本香港協会理事会・総会を開催   | 13 |
| 宮 城：「春節セミナー&パーティー」を開催<br>広東語教室の春節パーティーを開催  | 14 |
| 沖 縄：「春節・香港ビジネスセミナー2025 in 沖縄」開催  | 15 |
| 広 島：香港市場調査・香港広島県人会との交流会<br>春節意見交換会・セミナー  | 16 |
| 新 潟：香港フォーラム2024参加とアジアフォーラム in 新潟開催のPR<br>春節セミナー&イベントにて香港での日本食文化の歴史を知る<br>アジアフォーラム2025 in 新潟開催に向けた広報活動に奮闘 | 17 |
| 高 知：春節セミナー   | 18 |

## 映画《九龍城寨之圍城》の魅力と成功の秘密に迫る！

香港で大ヒットした映画《九龍城寨之圍城》(邦題：『トワイライト・ウォリアーズ 決戦！九龍城砦』、以下『九龍城砦』)。日本でもロングラン上映中の映画の魅力と九龍城砦について、広報委員2名が探ります。

隅田 香織 (NPO 法人日本香港協会広報委員)  
汪 江美子 (NPO 法人日本香港協会広報委員)

### ◆『九龍城砦』を観て

隅田：『九龍城砦』は日本でも大ヒットしましたね。

汪：2023年の香港フィルムアートでは、共同製作会社のひとつ、寰亞電影のブースが九龍城砦を模した造りになっていたんです。コロナ明けで久々のフィジカル開催となった見本市だったこともあり、特にバイヤーたちの注目を集めていました。

現地公開は2024年5月でしたが、隅田さんは最初に香港でご覧になったそうですね？

隅田：7月の香港旅行中に鑑賞しました。スピード感溢れるアクションや笑えるシーン、感動的な場面が詰まった素晴らしい作品で、まるで昔の香港映画が戻ってきたようでした。

香港ではどう受け止められたんでしょうか？

汪：当初の興収予想は香港で3,000万香港ドルでしたが、公開49日でローカル映画史上2作目となる興収1億香港ドル超えを達成しました。

隅田：私が香港で鑑賞したときも満席でしたね。

この映画の魅力は、今では見られない80年代の香港の風景が鮮やかによみがえっているところ。香港を知る人も知らない人もその世界観に引き込まれる作品でした。

### ◆印象に残ったシーン

汪：ルイス・クー演じる龍捲風の死闘シーンは印象的でした。テレンス・ラウ演じる信一に九龍城砦の住人たちの世話役を託し、最期まで体を張って戦い抜く。その任侠精神あふれる姿に、胸が熱くなりました。



寰亞電影ブースの看板には出演者の名前も (2023年3月撮影)



銀座喜記×配給会社の「叉烧飯」は連日大行列！ (2025年2月撮影)

隅田：あのシーンは涙なしでは観られませんね。

汪：香港のベテラン俳優が若手俳優たちに「次の時代は任せた！」とバトンタッチしているようにも見えます。

隅田：私はレイモンド・ラム演じる陳洛軍が九龍城砦の仲間として受け入れられ、麻雀卓を囲むシーンが印象に残っています。終盤、同じメンバーで最終決戦前に再び麻雀をし、負けたジャーマン・チョン演じる四仔が牌を海に投げ、仲間が「ひとつでも牌がなければ麻雀はできない」と言う。その言葉に、仲間の絆と「一人じゃない」というメッセージを感じました。

汪：映画の小道具も細部までこだわり抜かれていましたよね。隅田さんの解釈、素敵です。

### ◆私にとっての九龍城砦

隅田：私は学生時代から九龍城砦に魅かれていて、あのカオスな建物にどういった人たちが暮らしているのかわかりなかったんです。残念ながら、初めて香港を訪れる前に解体されてしまい、余計にどんな風だったんだろう？という思いが強いです。

汪：1980年代に香港在住だった友人に、当時の香港日本人学校で使われていた社会科の副読本を見せてもらったことがあるんですが、九龍城砦に関する記述はまったくなくて……。大人たちには「近づいちゃダメ」と言われ、九龍城砦のことは口にしばらく空気があったそうなんです。

隅田：知っていても訪れたことがない、目にしたことがない香港人も多いのではないのでしょうか。

汪：弊社が配給した香港映画『盗月者 トウゲツシャ』の袁劍偉監督は、13歳まで九龍城砦で暮らしていたそうです。「思い出はたくさんありますし、ここが良いとか悪いとかを語るつもりはありません。でも選べたなら、多くの大人たちはここを足がかりにして、この場所から抜け出したいと願っていたはずですよ」と語っていました。住民同士の温かな交流もあったのですが、決して住みやすい場所ではなかったのだと思います。

**隅田**：危険な場所と言うより、実際にはそこで生きる人々が必死に生活し、抜け出そうと努力していた場所なんです。まさにこの映画がそのリアルな九龍城砦の生活を映し出していると感じます。

九龍城砦は取り壊された後「九龍寨城公園」として生まれ変わり、穏やかな場所になりましたね。

**汪**：10歳の長男は、香港のインター校で九龍城砦を「歴史」として学んでいます。教室の本棚には関連書籍が並び、後ろの壁には生徒の調べ学習の成果物が貼られていました。九龍寨城公園へのバス遠足もあったんですよ。

**隅田**：私は九龍城砦は見られませんが、啓徳空港は2回経験しています。飛行機の轟音や独特の景色は映画のシーンのように印象深かったですね。

**汪**：“I believe that some things…will never change.”というフレーズが、映画のコピーに使われているんです。九龍城砦=香港そのものではありませんが、面倒見がよく、困っている人にすぐに手を差し伸べる香港の人々の気質は登場人物たちと今もさほど変わらない気がします。多様なバックグラウンドを持つ人々を受け入れる寛容さも。「変わらないもの」の存在も、この映画で改めて感じました。

**隅田**：確かに！おっしゃる通りかもしれませんね。

#### ◆映画『九龍城砦』に関わった日本人

**隅田**：実は私、90年代からこの映画のアクション監督、谷垣健治さんのファンなんです！

**汪**：ファン歴30年！きっかけは何だったんですか？

**隅田**：偶然、彼の出演作品を観て香港でスタントマンから下積みした努力の人なのだと知りました。近年は日本映画でも活躍し、まるで近所のお兄ちゃんが有名になったようで嬉しいです。

この映画には他にも日本人が関わっていますよね？

**汪**：音楽を担当された川井憲次さんですね？

**隅田**：はい、Wけんじさん！素晴らしい香港映画に日



九龍寨城公園内にある九龍城砦の模型

本人が関わっていることに誇りを感じます。お二人は第43回香港電影金像獎にもノミネートされていますね（寄稿時点）。今後のご活躍も楽しみです。※4月27日の授賞式で谷垣氏は最優秀アクション設計賞を受賞。

#### ◆香港映画のこれから

**隅田**：『九龍城砦』が日本でヒットしたことで、2月には監督と出演俳優が舞台挨拶のために急遽来日してくれました。感激でした。

**汪**：香港映画の海外興収は、近年、全盛期の6分の1にまで落ち込んでいます。「東洋のハリウッド」とも呼ばれたかつての輝きも薄れてきているように感じます。だからこそ『九龍城砦』が海外でも好成績を収めたことは、香港映画界にとって大きな励みとなりましたし、今回の来日に繋がったのかもしれない。

**隅田**：日本公開以降、徐々にその魅力が広まり、最終的には全国38都道府県で上映されるまでになりました。何度も劇場に足を運んだ人々も多かったですね。

**汪**：興収の半分は製作側に還元されますから、チケット代は続編の製作資金にもつながるはずですよ。

いま香港では、映画の資金集めがますます難しくなっていて……。九龍城砦は「歴史」になりましたが、香港映画まで「歴史」にしたいくはないですね。

**隅田**：もちろん！香港映画、劇場で全力で応援します！



**隅田 香織**（すみだ・かおり）  
香港情報発信サイト・香港ウンチク話管理人。香港に興味をもったのは映画『男たちの挽歌』がきっかけ。以来、香港映画に魅了される。



**汪 江美子**（わん・えみこ）  
サロンジャパン株式会社取締役。1959年創業の撮影機材会社、香港沙龍（サロン）電影にて日本事業戦略を兼務。『盗月者』の日本配給を手がける。



啓徳・AIRSIDEに展示された『九龍城砦』のセット（2025年3月撮影）

かつて香港日本人学校に通ったOB・OGで、現在第一線で活躍する人たちに香港の思い出と今のお仕事を聞きました。

ゲスト：かとりり さん（イラストレーター）

聞き手：平野 純一（NPO法人日本香港協会広報委員）

伊東 正裕（NPO法人日本香港協会広報委員）

### ——香港に住んだのはいつごろですか。

**かとりり** 1989～92年の小学4年生から6年生です。転勤が決まった際、父親が地球儀で「ここが香港だよ」と教えてくれました。日本では愛知県豊橋市に住んでいて、高層ビルなどはな



かとりりさん

かったのが、香港は初めての大会で衝撃的でした。

### ——香港の街はどうでしたか。

**かとりり** 着いたのは5月で、暑くて湿気がムワーっときたことを覚えています。あと、どこに行ってもジャスミンライスの匂いがする。なんか変わった匂いがするなあと感じていました。街は発展しているのに物乞いの人が多いのにも驚きました。地下鉄の入口などで、体の不自由な人が地面に座りプラスチックのコップを置いて、お金を乞うている……貧富の差の激しさにショックを受けました。

### ——香港の家はどちらでしたか。

**かとりり** ハッピーバレーから山の方に登ったブループールロード（Blue Pool Road、藍塘道）でした。香港日本人学校も同じブループールロードでしたので歩いて通えました。クラスメイトがダブルデッカーの路線バスで通っていて、はじめの頃は私もそうして、途中からはスクールバスにしました。

### ◆写生会で描いた絵が校長室に

#### ——香港日本人学校の生活は楽しかったですか。

**かとりり** 5月から入り新学期には少し遅れましたが、常に転校生がいる学校なのですぐに慣れました。当時は児童が多く4年生は6クラスありました。日本の小学校は5クラスだったので香港のほうが多かったですね。

印象に残っているのは、現地の小学校との交流会です。私のクラスは千代紙や爪楊枝で作った日本の着物の人形「姉様人形」の作り方を教えて、それをプレゼントしました。香港の児童は赤い紐を使った伝統工芸「中国結

び」を教えてくださいました。先生から「あなたたちは日本の代表として行くのです。心して行ってね」と言われて、日本人学校の児童とはそう



藍塘道（Blue Pool Road）を下るかとりりさん（左）と妹と祖母

いうものか、使命を背負っていくのだなと感じました。

#### ——その他の行事はいかがでしたか。

**かとりり** 写生会が楽しかったです。6年生でレパルスベイに行き、私は山の上の方にある別荘と海の風景を描きました。すると校長先生が気に入って、もう一人の児童の絵とともに校長室に飾られることに。あの絵はその後どうなったのかな（笑）。

#### ——やはり小さいころから絵が上手かったのですね。修学旅行はどこへ？

**かとりり** 5年生はマカオ、6年生は広州に行きました。広州へは鉄道で境界を越えていきました。

#### ——家族でよく行ったところがありますか。

**かとりり** コーズウェイベイ（銅鑼灣）が多かったですね。そごう、大丸などのデパートの書店で日本のマンガを買っていました。タイクーシン（太古城）にもよく行きました。あとは、母と一緒にハッピーバレーの市場へ行ったり、姉妹で家の近所の商店へ行き、「これ下さい」と広東語で話して買ってましたね。

妹はコーズウェイベイの幼稚園に通っていて、お迎えに行った帰りに母と3人でビクトリアパークによく行きました。海側に並んでいる低い木でお気に入りの1本あって、そこに座って本を読んだり、おやつを食べたりするのが好きでした。

#### ——香港で好きな食べ物は何でしたか。

**かとりり** 飲茶では、エビ蒸し餃子のハーガウ（蝦餃）、チャーシューパオ（叉焼包）、ワンタン麺（雲吞麵）などです。エッグタルトのダンタツ（蛋撻）や、丸い形が連なっているワッフルのようなガイダンジャイ（雞蛋仔）などのおやつも大好きでした。ガイダンジャイは屋台で売っていて、



鯉魚門にて

母親から衛生面でよくないから買い食いは禁止されていましたが、学校帰りに友だちが買ったのをもらって食べてました。幸いお腹はこわさなかったですよ（笑）。



### ◆会社の帰りにイラストレーターの勉強

——小学校を香港で卒業して、中学からは日本ですね。

かとまり はい、同じ豊橋の家に帰りました。小学校の時の友だちがそのまま中学でも一緒になり、私は何も変わっていないのですが、「中国帰りの珍しい子がいるらしい」と噂になって、教室まで見にこられたことも。その後はずっと豊橋に住んで名古屋市立大学人文社会学部に進み、絵を職業にすることはまったく考えていませんでした。

——就職は東京ですね。

かとまり ファッションや美容が好きだったので、美容師向けの専門誌を出している出版社に入りました。編集部では外部のイラストレーターに仕事をお願いすることもあります。すると、昔から絵が好きだったことを思い出して、やはり自分も絵を仕事にしたいと考えるようになりました。

実は、今の夫とのデートの記録（行った場所、食べたものなど）を絵日記にして記念日に彼に渡したらとても喜んで、「これすごくいいから、他の人にも見せないもったいない」と言ってくれたんです。それもイラストレーターの道を選ぶことへの背中を押してくれたと思います。

会社が終わった後に、著名なイラストレーターの原田治さんが創設した築地のイラストレーター養成学校「パレットクラブスクール」に1年間通いました。その後すぐにデビューできたわけではないのですが、絵の仲間やギャラリーの知り合いができたことで、2014年に個展をやりませんかと声を掛けてもらい、それを機に会社を辞めてイラストレーターの仕事を始めました。

——どのような媒体にイラストを描いているのですか。

かとまり 決まった媒体はなく、雑誌、書籍、広告、パッケージなど何でもです。紙の媒体以外にもウェブに掲載されることもあります。ファッションや美容の雑誌の仕事が多いので、やはり女性や、カラフルなタッチの絵が多いと思います。

### ◆香港をテーマにした作品で個展を開く

——2023年に香港をテーマにした作品集を出されています。

かとまり はい。「Blue Pool Road 香港のかけらを集めて」という個展を京都（2023年）と東京（2024年）で開催しました。

クライアントワーク以外に続けているものとして、サイアノタイプ（昔設計図で使われた青焼き、日光写真）を用いた、青い絵のシリーズがあるのですが、その技法で、昔も今も変わらずにある香港の風景やものを作品にして残したいと思ったんです。ブループールロードにある古い洋風建築のマンション、2階建てトラム、飲茶、

スターフェリーなど、私のお気に入りの香港を描きました。

——香港での体験は今の活動につながっているのですね。

かとまり 香港はもちろんですし、出身地の豊橋もそうです。自分のルーツに関わる場所を大切に想っているの、豊橋のコーヒー店の商品パッケージや、駅前



作品集「Blue Pool Road 香港のかけらを集めて」

で開催されるマルシェのポスターの担当もしています。やはり好きなものを描く時が一番楽しいです。

つながると言えばこの3月、念願叶って、作家として香港での展示会に出展することができました。昨年の個展「Blue Pool Road」を見た香港の人が誘ってくださったんです。映画をテーマにした、日本・香港・中国のアーティスト10名のグループ展で、私はウォン・カーウァイ監督作品『花様年華』をイメージした青い絵を展示しました。会期中には香港の会場を訪れ、主催者やお客さんと有意義な時間を過ごせました。

——日本人学校の友だちとは今もつながっていますか。

かとまり はい。6年生で帰国後、すぐに香港の友だちと文通が始まりました。まだインターネットのメールはないので、エアメールのお便りです。日本と香港の近況を報告し合っていました。

インターネットができてからはフェイスブックで同級生のグループができて、それで多くの人とつながりました。同窓会の連絡はSNSで取り合っています。私が個展のお知らせをすると、それを見た同級生たちが駆けつけてくれます。香港日本人学校での時期が重なってなくても、帰国後の同窓会で友だちになった人もいて、すごく広がりを持った同級生のつながりができていると感じています。



左から伊東、かとまりさん、平野

#### 〈かとまりさん略歴〉

愛知県生まれ。父親の転勤で小学4年生から6年生の卒業まで（1989～92年）を香港で過ごす。名古屋市立大学卒業。美容出版社勤務を経てイラストレーターに。現在は東京を拠点に、書籍や雑誌、広告、パッケージなどのイラストで幅広く活動中。定期的に展示会も開催。

## 私と香港ビジネス

NPO 法人日本香港協会（東京） 副会長 守永 俊一

### ◆香港でトレイニーとしてスタート

1985年8月、入社2年目の私は初めて香港の啓徳空港に降り立った。仕事での初の海外、また東南アジアへの初めてのステップであった。1年間の駐在であったが、そこから海外流転の会社人生が始まった。

私が着任したキヤノン香港トレーディングはキヤノン製品のアジア地域への販売拠点として、各国販売代理店管理を担っていた。当時の香港の総代理店はジャーディンググループ傘下のジャーディンマーケティングサービスである。1985年9月22日のG5プラザ合意以降に急激な円高が進み、香港からのカメラの横流れのコントロールも課題となった時期であった。私は香港や台湾でカメラ店の店頭へ赴き、価格調査を行ったりしていた。香港をお忍びで訪れていた俳優の高倉健さんにネイザンロードの高級百貨店 Lane Crawford で偶然出会って会話したのもこの頃の懐かしい思い出である。

当時の香港は未だアジアの旧植民地風情が漂う街であった。日本では表立って目にしないような貧富の格差を目の当たりにしながら、遅く生きる人々や街に充満する活気からエネルギーをもらっていた。



尖沙咀の路地の店で雲吞麵をすする筆者（1985年）

私自身はその後、トロント、アムステルダム、ロンドンから北京駐在を経て、2016年4月に東アジア地域責任者として、30年ぶりに香港駐在となり2022年9月まで6年半在任した。欧州の駐在が長かったこともあり、アジアに舞戻るとは全く想定していなかった。

### ◆経営者として再来港

再来港の任務は、香港とシンガポールにある地域統括本部の統合である。2014年末にプロジェクトが北京のアジア本部で立ち上がり、当時北京にいた私も事業責任者としてプロジェクトに関わっていた。既に大陸側では、ビジネス面でも香港は中国の一部との見方が強まっており、香港の東アジア統括機能をシンガポールに統合する案と相成った。OKY（お前が来てやってみろの略。中国ビジネスを知らない日本の本社に対して中国側の駐在員が揶揄して使う隠語）、ならぬOIY（お前が行ってやれ）という形で私は組織を閉じる側の役割を命じられた。配置転換、自然減を伴って人員を減らし、組織の見直しを行った。そして、日本人駐在員1名の香港マカオ地域の販売サービス会社として再スタートを切った。外国企業のアジア地域拠点の移転は、その後、2019年の逃亡犯条例改正案への反対に起因した抗議デモと2020年6月

30日の香港国家安全維持法の施行、それにコロナ禍の厳しい移動制限も加わり増加傾向となった。

心を砕いたのは、組織としてネガティブな状況を如何にポジティブ転換するかである。元気の素は前向きで明快な指針と達成感を持たせる事。そこで改めて「事業領域と販売地域の拡大」というミッションを掲げ、私自身も香港の地にコミットして戦略を立て、現地社員と共に実績を作っていくこととした。リストラで苦心する一方、統合後の成長計画を策定し、戦略ごとにプロジェクト化して達成を目指した。

まずは新たなスタートを切るため、オフィス賃貸のコストダウンを図りつつ、社員のやる気向上、職場環境改善も考え、新オフィスビルへ移転した。数あるプロジェクトの中で特に苦心したのは深圳への子会社設立である。3年目での黒字化を約束してB to Bの販売子会社を設立し、その後約束通り黒字化した。香港での地域社会貢献活動にも力を入れた。このように当初3年半はやる事に事欠かない状況で仕事に取り組んだ。

2019年下期以降は政情が不安定化し、その後もコロナ禍が続いてビジネスに大きな影響があった。BCM（事業継続経営）の社内横断プロジェクトを立ち上げ、週7日24時間SNSで連絡が取れる体制を整えた。抗議デモが行われていた際には、帰宅途中の従業員が誤って警察に身柄拘束される状況もあった。顧客に接する拠点でのコロナ感染者との接触による一時的な拠点閉鎖、それに伴うWeb公告の作成、顧客オフィスに出入りする従業員の罹患に伴う顧客への連絡等、夜中や週末にも対応する責任感ある香港人社員達には本当に頭が下がった。

困難な状況においてもBusiness as usualで結果を出しつつ健全な運営が図られたのは、香港人管理職たちの会社へのエンゲージメントのお陰である。彼らのプロ意識と様々な配慮、実行力なくして私は組織をまとめられずにいたであろう。あらためて感謝の気持ちが沸き起こるのである。

### ◆パワースポット香港

最後に、私が香港を語る際のキーワードを二つ紹介したい。

一つは、「竜宮城」。私にとって香港という街は楽しさに溢れ、若さを保てる場所だったからである（但し、これは恵まれた駐在員が感じる香港の陽の側面に過ぎないのであるが……）。

もう一つは、「パワースポット」。人々や街が活動的でエネルギーに溢れ、海と山に囲まれたパワーをもらえる場所だからである。これからも香港の失われぬ永続的な活力を信じている。

さて、香港から帰国して玉手箱を開けてしまい、老け込んだ気がしているのは私だけでしょうか？

## 香港経済貿易代表部が レセプション2025を東京で開催

2025年3月19日、香港特別行政区駐東京経済貿易代表部（HKETO）の主催によるレセプションが六本木にあるザ・リッツ・カールトン東京で開催され、政官財界、学界、メディアなど約500名のVIPが参列しました。

### ◆地域経済と貿易協力について促進

冒頭、HKETOのウィンサム・アウ（歐慧心）首席代表が主催者としてあいさつ。「香港政府の年次調査によると香港で事業をしている日系企業は1,430社を数え、海外企業の中で最多です。特にインベスト香港は海外から500社以上の誘致に成功し、そこには日本の有名企業も入っている」とあいさつしました。

日本政府観光局（JNTO）によると2024年来日した香港人は268万人と人口の約3分の1を占めています。日本人になじみのある店は、多くの香港人も知っています。そういった背景から、香港人たちをターゲットに2024年だけでも、ミスタードーナツ、鳥貴族など数多くの日系企業が新たに香港に進出。アウ首席代表の言葉を裏付けています。

さらにアウ首席代表は「香港政府は観光都市である香港をさらに発展させるため、香港政府観光局（HKTB）に12億香港ドル（230億円）以上の予算を確保しました。日本市場向けには、日本の旅行者を香港に誘致するための特別なキャンペーン『カワイイ香港』というプロジェクトを実施。詳細は後日発表する予定です。香港の『カワイイ』とはどんなところなのか？その答えをお楽しみに！」と語りました。



ウィンサム・アウ首席代表あいさつ

そのほか、新潟日本香港協会主催の「アジアフォーラム2025」が5月に開催されることから「香港から著名なゲストや講演者を迎える予定です。アジア各地からの代表団とともに地域経済や貿易協力のさらなる促進に取り組みたいと考えています。この貴重なネットワーキングに参加してください」と日本と香港の相互交流に一層、力をいれていくことを語りました。

### ◆日本と香港は切っても切れない関係

日本香港友好議員連盟顧問の海江田万里衆議院議員は「日本と香港の関係は重要で、また香港に『経済の時期』がやってきたと聞いています。香港が経済の中心となっ



主催者、来賓による記念撮影

て、再び中国経済を引っ張ってほしい。多謝、多謝」とあいさつしました。また、昨年末、日本香港友好議員連盟新会長になった自見はなこ参議院議員は「45名が所属している超党派の連盟です。食文化や経済で切っても切れない関係にあります。今年は大阪万博もあり、より一層交流が盛んになることを祈念しています」と祝辞を述べました。

会場の隣では、日本酒やクラフトビールを製造する企業がブースを出し、試飲などを行っていました。その中の1つである「SAKE HUNDRED」は2018年に創業。100年誇れる1本をとというコンセプトから生まれた会社で、日本有数の酒造技術を持つ酒蔵と共同開発したオリジナルの日本酒を販売しています。担当者は「香港人は日本の文化に対する感度が高いので、日本酒のすばらしさを知ってもらいたいです」と意気込んでいました。

会場で提供されたビュッフェは、焼き物や点心類など香港を思いださせるような豪華なメニューが数多く提供され、参加者は何度も列に並びなおしながら香港に思いをはせていました。また、レセプションの途中では恒例のライオンダンスが披露され、二頭のライオンは会場を縦横無尽に回りながら大勢の参加者の「頭をくわえ」、福を届けていました。

参加者お楽しみのラッキードローは、さまざまなものが提供されましたが、目玉は何といても香港往復航空券です。この時ばかりは自分に当たらないかな？と会場が少しばかり静かになっていました。

協会メンバーを含め、参加された方々は、約2時間の祝典の間、名刺交換をしながら、自



福を届けるライオンダンス

分自身の香港とのつながりについて語ったり、日本と香港のビジネスの交流の今後の可能性や協業について語りあったりしていました。



## 第24回NPO法人日本香港協会総会報告

令和7年3月17日東京都千代田区一ツ橋の如水会館に於いて、例年と同様「ハイブリッド方式」で第24回通常総会が開催されました。今年は多くの正会員の皆様から事前に委任状を提出していただいておりますので、無事に開催することが出来ました。正会員の皆様に厚く御礼申し上げます。当日の総会リアル出席者数は43名（うち正会員30名、法人会員12名、学生会員1名）で、委任状の数は160通。Zoom参加の申し出者数45名でした。

事務局長から定足数を確認の上、総会が適正に成立したことを報告。定款に則り佐藤会長に議長を委任し、定刻（17:00）通り開始。第1号議案「令和6年度事業報告」は、野島副会長が説明、第2号議案「令和6年度活動計算書」及び「付随会計書類（貸借対照表、財務諸表の注記、財産目録等）」は、事務局長が説明。続いて勝又監査役から監査報告を受けた後、第1号議案並びに第2号議案の採決を実施し、満場一致にて承認されました。



懇親会出席者全員の集合写真

その後、第3号議案「令和7年度の事業計画」について、守永副会長が日本と香港の相互理解を深めるために、令和7年度も例年行っている事業の継続と拡充に努めていく方針を説明。さらに、本年5月には新潟で「アジアフォーラム」が開催されるので、全国の日本香港協会メンバーでアジアフォーラムを盛り上げて行く旨を報告。第4号議案「令和7年度活動予算計算書」について、小柳理事が2025年度も協会収入の柱である広東語教室、華人経営研究講座を中心として収入源を確保しながら、経費の見直しを行っていく旨を説明。その後第3号議案並びに第4号議案の採決を実施し、両議案とも満場一致にて承認されました。

第5号議案「役員の変動」について佐藤会長が説明。5人の理事が辞任し、新任理事（山内崇生理事）が就任する旨満場一致で承認されました。当日提出された全議案が承認され、17時50分に総会を終了。

当日は総会の前後にそれぞれイベントを実施しました。



懇親会における正副会長、TDCベンジャミン・ヤウ首席代表、ETOウィンサム・アウ首席代表、新潟協会吉田会長

### ◆講演会（16時～16時50分）

総会の前に講演会を開催いたしました。講師は永年中国ビジネスに携わってこられた著名なコンサルタント水



水野コンサルタンシーホールディングス水野真澄代表の講演会



総会で挨拶する佐藤会長

野真澄様（水野コンサルタンシーホールディングス代表）で、「香港、中国（華南）のビジネストレンドと日系企業の今後の選択」のテーマでお話ししていただきました。今回のご講演の内容は、香港のビジネス環境が時代とともにどのように変遷してきたか、香港のビジネス環境が変遷する中で日本企業はどう対処してきたか、今後アジアでビジネスを行うにあたり、日本企業にとって香港が現在も有する税制や物流等における優位性の理解とその活用が重要であること、中国や香港とベトナム等アジアの国々とのビジネス環境の違い等を、事例を踏まえながら網羅的にご講演いただき、皆様から大変好評を博しました。因みに水野様が2002年に執筆されました『中国ビジネス投資Q&A』は、当時香港の日本人駐在員の間で大変人気で、香港の旭屋書店では、村上春樹の作品より売れて、販売実績で第1位になったとのこと。

### ◆アジアフォーラムのアピール（16時50分～17時）

講演会と総会の間に新潟日本香港協会の吉田会長と大島事務局長が、本年5月21日～23日に新潟で開催されるアジアフォーラムのアピールをされました。今回の新潟のアジアフォーラムのテーマは「食で結ぶ新潟・香港・アジア」で、アジアフォーラムには国内外約200名の参加を計画されているとのこと。

### ◆立食パーティー（18時～19時、参加者40名）

ご来賓の香港経済貿易代表部のウィンサム・アウ首席代表にご挨拶、香港貿易発展局のベンジャミン・ヤウ首席代表に乾杯のご発声をお願い致しました。約1時間と短い時間でしたが、ネットワーキングをしながら和やかな中に賑わいのあるレセプションでした。

法人会員の皆様にもオブザーバーとして総会にご出席いただくと共に、講演会やレセプションにも参加していただきました。約3時間に亘る新年度最初のイベントも、今回リアルご参加あるいはZOOMで視聴していただきました正会員の皆様、理事の皆様、そしてご協賛いただきました香港貿易発展局のご協力により、無事終えることが出来ました。皆様ありがとうございました。

忙しい1日でしたが、全理事が一連のイベントに参加して、今年度も協会活動に積極的に取り組んでいこうという気持ちの一つにした1日であったように思います。来年はより多くの皆様のご参加をお待ちしております。



## KANSAI

関西日本香港協会

関西日本香港協会 事務局

## 香港フォーラム参加

2024年12月3日、4日に香港で開催された25周年記念香港フォーラムに関西から17名の会員が参加しました。参加者は男性4名、女性13名と圧倒的に女性が目立つ参加になりました。田島等副会長が校長をしているファッションスクール上田学園の講師と若い生徒7名と一緒に参加、世界経済誌「フォーブス」(米国)で国際的に活躍する女性として紹介された金子友紀さん(Miss Asia USA International 2022, 2023グランプリ受賞者)、Miss Business Global JAPAN(ベトナム)の日本ディレクターの狭山美佳さんと2025年度日本代表の佐藤香葉子さん、国際的に活躍しているシンガーソングライターの海賀千代さんなど、活躍している女性会員が多く参加してくれて盛り上がりました。海賀千代さんは、昨年9月にロシアのモスクワで開催された国際歌謡コンテスト、10月に英国のロンドンで開催された音楽のEXPO、今年2月にはロンドンで開催されたLondon Fashion Weekなどで歌って絶賛されています。今回、香港でも12月2日の日本前夜祭、翌日のクルージングディナーパーティー、帰国前日には戒田会長の友人アンソン・チャン氏の私邸で行われた歓迎パーティーで自然を敬い感謝するテーマの曲を歌われました。又、クルージングディナーパーティーで戒田会長が香港フォーラム参加25年皆勤賞で表彰され、総裁のマーガレット・フォンさんからゴールドの盾を授与されたのもよかったです。25年表彰はカナダの会長と2名だけだったそうです。



クルージングディナーパーティーでの記念写真

香港では女性の活躍が目立っており、香港フォーラムも企画・運営は全て女性の皆さんが仕切っています。上田学園の若い女生徒さん達も毎年香港フォーラムで積極的に交流して香港から多くのことを学んでくれているようです。香港でのスタートアップ企業に若手女性経営者が多いと報道されていますので、これからも女性事業家、若手男性経営者の皆さんに積極的に香港フォーラム参加



アンソン・チャン氏邸宅での歓迎パーティー

を促したいと思いました。

## チャイニーズ・ニュー・イヤー・パーティー開催

去る2月18日にチャイニーズ・ニュー・イヤー・パーティーを中国料理「錦城閣」で開催し、50名の参加者が美味しい春節特別料理とラッキードローを楽しんで親しく交流しました。

戒田会長の開会挨拶では、2024年度の嬉しい出来事として田島等副会長が国連の世界平和人権大使に任命されたことが披露されました。続いて、香港貿易発展局のベンジャミン・ヤウ日本首席代表が歓迎の挨拶、香港特別行政区政府駐東京経済貿易代表部のウィンサム・アウ首席代表の来賓挨拶、新潟日本香港協会の大島和憲事務局長による新潟アジアフォーラムの説明があり、伊藤紀美子副会長の乾杯の音頭で会食が始まりました。

ラッキードローでは参加者の半分以上の34名に景品が当たり、特別賞(キャセイパシフィック航空の香港往復ペアチケット)で大変盛り上がりました。最後に、田中義次副会長の閉会挨拶で閉会しました。



チャイニーズ・ニュー・イヤー・パーティー開催



## 新年情報交換会開催報告

2024年5月に新体制の下で発足した中部日本香港協会は、1周年を迎えました。2025年2月25日には、春節イベント「新年情報交換会」が名古屋マリオットアソシアホテルで盛大に初開催され、次年度の活動に向けた機運



来賓と役員による乾杯



オープニングコンサートの様子

がより一層高まりました。

会場には会員をはじめ、来賓として香港経済貿易代表部のウィンサム・アウ（歐慧心）首席代表および中華人民共和国駐名古屋総領事館の季文斌副総領事にもお越しいただき、新規入会希望者と合わせて総勢43名が集結しました。中国琵琶演奏家の涂善祥氏と、テノール歌手の包金鐘氏の共演が会場に華を添える中、参加者が終始和やかに交流を深める、素晴らしい機会となりました。

## 中部日本香港協会 会員 越智 博

## 第25回香港フォーラム参加報告

2024年12月3日、4日に香港ビジネス協会世界連盟の世界大会、第25回香港フォーラムが香港コンベンション&エキシビション・センターにて開催されました。中部日本香港協会からは越智成幸会長と蔵野副会長そして私の3名が出席しました。

例年どおり、2日間の会期中には、講演会、ディスカッション、視察ツアー等数多くのイベントが催されました。初日のメイン・セッションでは「国際競争力の基盤」、テーマ別セッションでは「香港の最新開発 - 北部都会区」についてお話を聞き



ジョン・リー行政長官のあいさつ

ました。また、開催初日のウェルカムディナーでは、世界中のメンバーが一堂に会し、国際色豊かな交流を通じて、香港の夜景と共に船上ディナーを楽しみました。2日目は国・地域別に集まり、地域分科会が開催されました。昼食講演会では香港特別行政区政府のジョン・リー（李家超）行政長官が登壇し、香港の可能性についての講演も行われました。さらに、香港フォーラムの前日、

12月2日には、「Victoria Harbour Supreme（海港薈）」において日本全国交流会が開催されました。2024年一年の活動を振り返るとともに、来年の新たな事業計画が討議されました。全国交流会は、年に一度香港で交流ができる機会ということもあり、今年も大盛況の宴となりました。



2025年のアジア 船上ディナーの様子

フォーラムは12年ぶりの日本開催です。5月21日～23日に新潟県にて行われます。日本の食と伝統文化を学ぶ良い機会です。中部日本香港協会でも情報を共有し参加告知活動を推し進めて参ります。



日本全国交流会の様子

## KYUSHU

九州日本香港協会

九州日本香港協会 事務局長 チェ・キョンミ

## 香港とのつながりを祝う 春節セミナー&パーティー2025

2025年3月18日、福岡市・ソラリア西鉄ホテル福岡にて、九州日本香港協会と香港貿易発展局の共催による「春節セミナー&パーティー2025」が開催されました。九州・香港両地域から多彩な関係者が集い、新年の節目を祝うとともに、経済・観光・人材交流の今とこれからを共有する場となりました。

セミナーの冒頭では、九州日本香港協会の石原進会長（九州旅客鉄道特別顧問）が登壇し、昨年参加した香港フォーラムやアジアフォーラムの報告を交えつつ、北部開発構想や地域間連携に触れながら、「どんどん香港に出て行くべき。経済自由度の高い香港との交流をさらに広げていきたい」と語りました。

続いて、香港貿易発展局のベンジャミン・ヤウ日本首席代表が、訪日香港人旅行者が過去最高の268万人を超え、日本にとって香港は、農林水産物・食品の輸出面でも長く信頼できるパートナーであり、多くの日本産品が現地で受け入れられていることを紹介しました。また、香港では日系企業が1,400社以上活動し、ニトリやドン・ドンキなどの日本の流通店舗も充実してきています。「スタートアップが4,000社以上。香港を国際ビジネスのハブとして活用してほしい」と力強く語りました。

来賓として登壇した、香港経済貿易代表部のレオ・ツェ次席代表は「香港は福岡・熊本・鹿児島と空路で結ばれており、特に昨年は福岡地域に多くの観光客が訪れた。経済・観光双方において、九州との関係性がますます重要になっている」と述べました。

特別講演では、鎮西学院大学総合社会学部の登り山和希准教授が「九州域内における外航クルーズ寄港の現状と課題～訪日香港人観光客の動向を中心に～」をテーマに登壇。港湾の整備状況や外国人観光客の動向に加え、クルーズ観光の将来性、また訪日香港人の消費傾向の変化などを詳しく分析。「長崎・佐世保を含む九州港は、

今後ますますアジアのクルーズハブとして期待される。香港との連携にも十分な可能性がある」と語りました。

続いて、新潟日本香港協会の吉田至夫会長より、5月に開催予定の「アジアフォーラム2025 in 新潟」について紹介がありました。市内視察ツアーや古町芸妓の歓迎、魚沼エリアのエクスカッション、万博チケットの提供など、地域文化と国際交流を結ぶ多彩なプログラムが予定されており、「食でつながる香港・アジア・新潟」をテーマとした意欲的な取り組みに注目が集まりました。

パーティーでは、豊住慎一副会長（西日本シティ銀行国際部長）の乾杯挨拶に続き、各テーブルで活発な交流が繰り広げられました。「こうしたリアルな接点の場こそ、ビジネスの種が芽吹く」と語る参加者も多く、日港



ラッキードロー贈呈（岩尾磁器工業）

交流への関心の高さが感じられました。

恒例のラッキードロー抽選会では、味珍味有限公司、岩尾磁器工業、西研グラフィックス、九電工、JTB福岡支店、西日本シティ銀行、西鉄ホテルズ、福岡銀行、福岡・大連未来委員会、Bicman Asia、レイナ、九州旅客鉄道の計12社から合計30点を超える景品が提供されました。有田焼のマグカップや花瓶、ワイン、オリーブオイル、旅行券、食事券などが贈呈されるたびに会場は大いに盛り上がり、交流の場に華を添えました。

閉会の挨拶では、三溝尋紀理事（福岡銀行）より、「一度の出会いをしっかりとつなぎ、明日からのビジネスへと実らせていきたい。来年も継続的に取り組んでいきたい」と語られ、力強く締めくくられました。

なお、本イベントの実施を通じて、香港との人的・経済的な交流の重要性を改めて実感する機会となりました。九州日本香港協会では、今回のセミナーおよびパーティーをきっかけに、九州地域と香港をつなぐ持続可能なプラットフォームの整備に取り組んでまいります。今後とも、会員の皆さま並びに関係各所のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



吉田会長ご登壇



## 総会・理事会、 春節セミナー・レセプション開催

2025年3月8日、山形日本香港協会の総会・理事会、並びに春節セミナー及びレセプションが山形グランドホテルを会場として開催されました。春節セミナー及びレセプションについては、昨年の春節イベントと同様に、山形日本香港協会と香港貿易発展局の共催、山形県、山形市、山形商工会議所、山形県商工会联合会、一般社団法人山形県国際経済振興機構より後援をいただいで開催となりました。また、香港貿易発展局のベンジャミン・ヤウ首席代表にも春節セミナーからレセプションの最後までご参加をいただきました。



春節セミナー(左から、山形市商工観光部松沢次長、山形商工会議所矢野会頭、ベンジャミン・ヤウ首席代表、山形日本香港協会大沼みずほ会長、山形県産業労働部岡崎部長、大正大学地域創生学部柏木教授、東北経済連合会事務局小野参与)

春節セミナーにおいては、観光(インバウンド)と輸出の二本立ての内容にて基調講演を行っていただきました。多くの方に関心を持っていただけたようで、53名の参加がありました。

観光についての基調講演では、大正大学地域創生学部公共政策学科の柏木千春教授より、「『選ぶ』、『選ばれる』観光地をつくる」と題し、お話をいただきました。柏木先生は、お父様が山形県天童市のご出身ということで、山形の実情を踏まえられたうえでの内容となりました。日本におけるインバウンドの現在の状況、インバウンド観光地としての山形県の日本の中での現在位置と課題、山形県の持つ観光地としての潜在能力、今後どのような視点での戦略や取り組みが必要か、について他県の実例や詳細なデータに基づいての話がありました。

山形県は、日本におけるインバウンドの中心である、北海道や京都、東京、大阪、富士山といったエリアとは条件が異なるなか、新潟県・群馬県・長野県の3県(3市3町1村)の地域連携としての雪国観光圏、栃木県大田原市の大田原ツーリズムなど地域の文化や特性、資源を最大限に活用した取り組みを実例として紹介がされました。コアなりピーター確保、ファンづくりの重要性という視点から、ブランドコンセプトを一つに絞り、やまが

たブランドがもたらす世界観・物語を体感できる商品の造成と整理をしてみてもどうかとの話がありました。山形県としての観光戦略をこれから更に推し進めるにあたって、大変参考になる話であり、出席者の皆様も熱心にメモを取りながら、お話をお聞きになっていました。

また、一般社団法人東北経済連合会事務局の小野晋参与より、「輸出先としての香港市場の魅力再定義～東北の輸出拡大戦略～」と題した基調講演がなされました。九州農水産物直販(九直)と連携した輸出の取り組みについて、お話がありました。従来の考えられた正攻法ではなく、物流コストをいかに下げるか、いかに商流を確保するのかの重要性について話がなされ、こちらの講演も、参加者の皆様は大きな関心を持ってお聞きでした。

香港貿易発展局の伊東正裕東京事務所長からは、最新の香港概況についてお話がありました。あらためて香港の方々にいかに日本文化が愛されているか、日本から香港への輸出を増やせる余地がまだ十分にあると説明がありました。また、当協会の会員である(株)丸屋本店が香港のセブンイレブんとのコラボにより、山形県産米はえぬきを使用したおにぎりを、昨年に発売開始をしたとの発表があり、会場の方々も興味深く聞き入っておられました。また、新潟日本香港協会の吉田至夫会長にもご登壇いただき、今年5月に新潟で開催される「アジアフォーラム2025 in 新潟」についての紹介がありました。

レセプションでは、香港特別行政区政府駐東京経済貿易代表部のレオ・ツェー次席代表、山形県の吉村美栄子知事(代読:産業労働部岡崎正彦部長)、佐藤孝弘山形市長(代読:商工観光部松沢聖次長)より、祝辞をいただきました。レセプションには54名の出席となり、春節セミナーを含めると延べ61名の方々のご参加をいただき、大変な盛況のもとでの春節イベントとなりました。またレセプションでは、出席者の方からご提供いただいた、山形県の名産品であるさくらんぼや紅花を使用したクラフトビールが振る舞われました。



レセプション記念撮影(左から3人目山形市長、左から4人目大石町田庄司町長、右から3人目レオ・ツェー次席代表)

最後になりますが、今年の春節セミナー及びレセプションの開催運営にあたっては、香港貿易発展局の伊東正裕東京事務所長、引地洋介マネージャーをはじめ香港貿易発展局の皆様には多大なるお力添えをいただいたことを、この場をお借りし、感謝申し上げます。



# HOKKAIDO

北海道日本香港協会

## 北海道日本香港協会

### 春節のつどい2025開催

北海道・札幌では春節最終日である2月4日から11日にかけて冬の一大イベント「第75回さっぽろ雪まつり」が開催されました。今年は日曜・祝日に風雪が強まるなど天候が悪化した影響もあり来場者数は232万7,000人と前年比2.6%減となりましたが、日本国内だけでなく海外からも多くの観光客の方が訪れて冬の札幌を満喫されていました。

さっぽろ雪まつりの熱気冷めやらない2月17日にホテルモントレーエーデルホフ札幌にて「春節のつどい2025」を香港貿易発展局との共催で開催致しました。



春節のつどい集合写真

当協会石水会長の開会挨拶に続いて香港貿易発展局ベンジャミン・ヤウ日本首席代表が主催者を代表してご挨拶しました。来賓としてお越しくくださった香港特別行政区政府駐東京経済貿易代表部ウィンサム・アウ首席代表、北海道三橋剛副知事、札幌市町田隆敏副市長からご挨拶を頂きました。中華人民共和国王根華駐札幌総領事の乾杯のご挨拶の後に昼食を取りながらご歓談頂きました。

昼食終了後には、香港貿易発展局東京事務所伊東正裕



石水会長開会挨拶

所長が「香港の最新概況」の講演を行いました。講演では、特に日本の食に関する香港への進出事例が数多く紹介されていましたが、食以外にも家具や工芸品、生活雑貨など様々な商品が香港で支持されており、大湾区、アセアン経済圏へのゲート



伊東所長講演

ウェイとしての香港の魅力について解説しました。

また、株式会社ニトリパブリック山口章常務取締役からは「北海道産品の香港展開について」ご講演頂きました。講演では海外からの輸入を通じて空になったコンテナを活用した輸出ビジネスについてのご紹介とともに、香港の総合食品見本市「Food Expo PRO」出展への様子や香港のニトリの店舗での北海道物産展の様子など海外でのビジネス展開について解説されました。



山口常務講演

最後に、香港貿易

発展局からの案内に続いて新潟からお越しくくださった新潟日本香港協会大島和憲事務局長より5月21日～23日に新潟県にて開催される「アジアフォーラム 2025」についてご案内を頂き会は終了となりました。

北海道日本香港協会では、引き続き香港と北海道の観光、ビジネスなど交流の懸け橋として様々な取り組みを行って参ります。

### 北海道日本香港協会理事会・総会を開催

北海道日本香港協会は2月17日に開催した理事会での承認を経て、書面にて総会を開催致しました。総会では会長及び副会長選任、2024年活動報告並びに会計報告、2025年事業計画（案）について賛成多数でご承認頂きました。今年度から2年間以下役員のもとで活動に取り組んでまいりますので、引き続きご支援の程宜しくお願い致します。

#### ◎役員

- 会長 石水 創 (石屋製菓株式会社 代表取締役社長)
- 副会長 町田 隆敏 (札幌市 副市長)
- 副会長 川村 哲夫 (日本清酒株式会社 代表取締役社長)





## 「春節セミナー&パーティー」を開催

2025年2月13日17時から「2025春節セミナー&パーティー」をTKPガーデンシティPREMIUM仙台西口8階に於いて開催しました。寒い中、約60名もの参加者を得て、盛大に開催することができました。

小野寺会長の挨拶で幕を開け、第1部はセミナーです。「宮城そして、日本の職人技と香港富裕層のマッチングの可能性」と題して株式会社門間筆筒店門間一泰代表取締役の講演、続いて「仙台空港を經由して香港人を日本の東北の名所・景勝地へ」と題して株式会社JTB仙台支店の陶山貴史営業第一課長の講演と2つの講演があり、その後香港貿易発展局の伊東正裕東京事務所長による「お知らせ」がありました。お三方から約70分にわたって香港の魅力についてご紹介いただき、参加者一同香港の魅力に思いを新たにしました。



2025春節セミナーの様子

さて、第2部はパーティーです。増子副会長による挨拶、名誉顧問である村井知事の代理として出席された鈴木国際ビジネス推進室長の祝辞、郡仙台市長の代理で出席された白岩イノベーション推進部長の祝辞、香港貿易発展局ベンジャミン・ヤウ日本首席代表の祝辞、そして香港特別行政区政府駐東京経済貿易代表部レオ・ツェー次席代表の挨拶の後、仙台国際空港株式会社の前田基代表取締役の音頭による乾杯があって、祝宴となりました。



来賓の方々による乾杯

会場には、香港の数々の飾り付けが施される中、参加者も料理を楽しみながら、香港の気分を幾分か満喫することができました。宴会の席上、新潟日本香港協会の大島事務局長からアジアフォーラムのアピールや楊志寛氏の歌の披露があり、会場をことのほか湧かせたのが本日

のメインイベント、「お楽しみ抽選会」です。たくさんの景品が用意され、順番に抽選を行いました。当たるたびに歓声が聞こえ、とても賑やかなパーティーとなりました。

最後は泉岡副会長の閉会挨拶で終了です。あっという間に時間が過ぎ、参加者の皆さんは、景品を片手に「また来年、楽しみにしているよ」などと話しながら会場を後にしました。

## 広東語教室の春節パーティーを開催

2025年2月2日午前11時から、荒川先生のお宅で、恒例の春節パーティーを開催しました。東京で行政書士をしている小林幸一さんも参加、安達さん、藤田さん、小林由季さん、



広東語教室春節パーティーのお菓子

そして香港協会事務局からもペギーさんはじめ多数参加、荒川先生のご主人も参加して、10名を超える盛大なパーティーとなりました。いつもながら荒川先生の手料理に、参加者一同おいしいの連発、香港の食を堪能することができました。香港の人気俳優等の話で盛り上がる中、アッという間に夕方の4時、別れを惜しみながら再会を約して散会となりました。

今回初めて参加した大学生の市川さんは、「赤を基調とした装飾で彩られた荒川先生のお宅はとても華やかで新鮮な空間だった。参加者の方々とお話しする中で、香港への愛とその魅力が強く伝わってきて、食だけでなく俳優や映画、文化や歴史などまだまだ知らない香港の魅力をもっと知りたいと感じた」と感想を語りました。市川さんは昨年、実際に香港を訪れた経験があり、「今回のパーティーを通じて、改めて香港の文化の奥深さを感じることができた」と振り返りました。

次回の春節パーティーは初参加の方が増えて、さらに素晴らしいパーティーになりますように。



広東語教室メンバーの記念写真

## OKINAWA

沖縄日本香港協会

沖縄日本香港協会 事務局

## 「春節・香港ビジネスセミナー2025 in 沖縄」開催

令和7年2月7日、ホテルコレクティブにて「春節・香港ビジネスセミナー2025 in 沖縄」が開催され、多くの参加者が集まりました。本セミナーは、春節を契機に日中間の文化交流を深めるとともに、経済・観光分野でのビジネスチャンスを探ることを目的としています。



金城克也会長挨拶

開会にあたり、沖縄日本香港協会の金城会長は「昨年は円安の影響もあり、香港からの訪日客数が好調に推移した一年となりました。日本政府観光局の発表によると、過去最高であった2019年の年間訪日客数を上回る結果となっております。沖縄への訪問状況に目を向けますと、コロナ禍後、直行便の増便が段階的に進んでおり、本年7月には、沖縄北部で大規模テーマパーク『ジャングリア』の開園が予定されております。このテーマパークは、豊かな自然環境を活かしたアトラクションや滞在型リゾート施設を兼ね備え、国内外の観光客に新たな魅力を提供することが期待されています。特に、香港をはじめとするアジア圏の旅行者にとっても、沖縄観光の新たな目的地となる可能性が高く、これにより沖縄全体の観光産業のさらなる活性化が期待されます。

また、本日は、香港経済貿易代表部のウィンサム・アウ首席代表にもご臨席いただいております。お越しいただき、誠にありがとうございます。セミナーでは、インバウンド戦略研究所の清水代表より、『訪日インバウンドで深化する沖縄と香港』についてご講演いただきます。本日のセミナーが、ご参会の皆様のビジネスに資するとともに、香港と沖縄のさらなる交流・発展につながることを願っております」と挨拶しました。

続いて、香港貿易発展局のベンジャミン・ヤウ日本首席代表が歓迎挨拶を述べ、香港と沖縄の更なる友好関係の発展に期待を寄せました。また、来賓として、香港経済代表部ウィンサム・アウ首席代表が挨拶、香港と日本の強い経済関係と今後の経済・人的交流の発展について期待を話されました。



春節セミナー

基調講演では、インバウンド戦略研究所の清水泰正代表が「訪日インバウンドで深化する沖縄と香港」について講演を行い、訪日観光客の動向や市場戦略について解説しました。清水代表は「香港は、訪日者数の比率（2.8人に1人）、リピート率（10回以上37.1%）1日1人当たりの消費額（31,708円）、1人当たりの海外旅行消費額（3,586米ドル）の4項目で世界一であり、観光分野において優位性が高く、沖縄も有力な目的地である」と話しました。また「香港の消費者の特徴として、目的以外の消費には淡泊な一面をみせ、メリハリ消費者であり、宿泊・食事は『徹底追及するこだわり派』と『価格・効率・利便性を重視する割り切り派』と二極化している」と述べ、今後の有望なマーケットとして温泉・禅などメディテーションや湯治や検診、豪華列車を目的としたシニアマーケットや家族同様に旅行に連れて行くペットマーケットを挙げました。香港の後背地である広東省を含めた市場として有望であり、香港は市場規模が小さいものの「インバウンドの実験室・テストケースとして活用できる」と新たな沖縄観光の魅力づくりの可能性についても挙げました。

その後、春節パーティーが開催され、参加者同士で交流を深め、香港に関する情報交換や新たなビジネスの可能性を探る場となりました。



春節パーティー



## 香港市場調査・香港広島県人会との交流会

香港フォーラム2024に昨年に引き続き参加しました。香港フォーラムに参加した後、現地のYATA、DAISO JAPAN、DON DON DONKI、SOGO、AEONなど香港における日本商品の取扱状態について市場調査を行いました。

いずれの店舗も現地のお客さまで賑わっていて、ソース、卵、ふりかけ等、広島県の企業の商品も多く取り扱われており、ポップアップや陳列方法等、日本の店舗と同様の雰囲気を感じました。これらの店舗に行き、多くの日本、そして広島の商品が香港に浸透していることを実感しました。

また、香港を訪問した際に恒例となっている香港広島県人会の皆様との交流会を開催しました。初参加の方を含め11名での開催で、香港や広島の事などについて情報交換、交流を深めました。

香港在住歴、業種、年代も様々な方にご参加いただき、「香港にいながら広島を身近に感じる事ができた」や「広島に貢献したい」等の発言があり、皆様の広島への熱い思いが伝わる非常に有意義な時間を過ごすことが出来ました。当協会としても、このご縁を大切に香港・広島の魅力を発信して参ります。

帰路の便では、昨年11月に運航再開となった香港エクスプレスが運営する香港-広島直行便を利用しました。香港国際空港9時15分発の便に搭乗しましたが、機内はほぼ満席の状態、乗客のほとんどは香港の方を含む外国の方で、広島と香港の交流が活発であると実感しました。



香港-広島直行便機内

## 春節意見交換会・セミナー

2月10日にシェラトングランドホテル広島において春節意見交換会とセミナーを開催しました。意見交換会には香港経済貿易代表部レオ・ツェー次席代表、新潟日本香港協会の吉田至夫会長を来賓としてお招きし、吉田会



春節意見交換会

長からは今年5月に開催されるアジアフォーラム 2025 in新潟のご案内をしていただいたほか、参加者の皆様と昼食をとりながら、意見交換が行われました。

昼食後にはインバウンド戦略研究所の清水泰正代表による「訪日インバウンドで深化する広島と香港～インバウンド増大と輸出促進の好循環について～」と題したセミナーを実施しました。本セミナーでは、会員以外の方にも幅広くお声がけし、観光業界をはじめ多様な業種の方々にご参加いただくことが出来ました。セミナーでは、香港は1人当たりの消費額やリピーター率も非常に高く、リピーターを意識したニーズの把握やリアルタイムな情報発信が重要と強調されたほか、訪日香港人を起点とした口コミが広がることで輸出につながり、さらに後背地へと市場が拡大する可能性についても触れ、「香港はインバウンドの実験室」としての役割を担うなど、今後の市場拡大の試金石となるとのお話がありました。

セミナー参加者からは、「香港の人が何を求めているかがわかったので、今後の戦略に活かせる」、「現地のトレンドについて知ることができてよかった」等の感想をいただきました。



セミナー

引き続き、当協会では、会員の皆様と香港との相互理解と友好を促進し、経済の交流を図るための活動を展開していきます。



# NIIGATA

新潟日本香港協会

新潟日本香港協会 事務局 長部 未奈

## 香港フォーラム2024参加と アジアフォーラム in 新潟開催のPR

2024年12月初旬、新潟日本香港協会として香港フォーラムに参加いたしました。今回は、アジアフォーラム2025 in 新潟開催PRを兼ねた視察ツアーとして実施し、フォーラム期間中の各イベントにおいて新潟開催を告知する機会を設けていただき



全国連合会前夜祭にてウィンサム・アウ首席代表と吉田会長

ました。具体的には、全国連合会の前夜祭、フォーラム初日の歓迎夕食会、フォーラム2日目のアジア地域分科会等、様々な場面でPR時間を頂戴し、新潟の魅力をお伝えすることができました。現地では、日本香港協会の佐藤会長、香港シンガポールビジネス協議会のデニス・チュー会長、香港マレーシアビジネス協議会のディクソン・チュー会長をはじめ、多くの方々のサポートをいただきました。その結果、アジア地域のみならず、アジア以外の地域からも関心を寄せていただくことができました。また、参加者の中には「東京や大阪には行ったことがあるが、新潟には行ったことがない」という方も多く、

新潟の魅力について広く発信する必要性を改めて実感しました。米どころ・酒どころとしての新潟をより多くの方々に知っていただけるよう、フォーラム成功に向けて準備を進めてまいります。



香港フォーラムクルーズディナーにてマーガレット・フォン氏へ新潟開催の報告

## 春節セミナー&イベントにて 香港での日本食文化の歴史を知る

去る3月4日、ホテルオークラ新潟にて春節セミナー&パーティーを開催し、総勢32名の皆様にご出席いただきました。セミナーでは、「香港における日本食文化普及の歴史的経緯～現場の実体験から」と題し、現在香港日本料理店協会名誉会長を務められているパシフィックサイト東京の吉田寛代表取締役にご講演いただきました。吉田氏は、香港の現地法人における日本食品の輸入・卸販売をはじめ、アパレル製品の貿易ビジネス、日本食専門店の開店など、多岐にわたる経験をお持ちです。

講演では、試食販売やストッキング、ティッシュの無料配布、高層ビル内での飲食店開店といった、他社にはない独自の戦略にまつわる苦労や、成功に至るまでの経緯を語っていただきました。また、「ホテルのお寿司をカジュアルに」というモットーのもと挑戦を続ける吉田氏の取り組みは、参加者の皆様にとって大変興味深い内容となりました。当日は、来賓としてお越しいただいた香港特別行政区政府駐東京経済貿易代表部のレオ・ツェー次席代表、中華人民共和国駐新潟総領事館の崔為磊総領事、および馮淳副総領事よりご挨拶をいただきました。セミナー終了後には懇親パーティーを開催し、宮城日本香港協会の事務局の皆様にも遠方から足をお運びいただきました。地域の垣根を越え、香港をはじめとする海外事業について意見交換が行われ、和やかで活気ある雰囲気の中、交流を深める機会となりました。ご多忙の中、ご参加いただきました皆様に心より御礼申し上げます。



春節セミナー（左から崔総領事、佐藤会長、吉田会長、ベンジャミン・ヤウ首席代表、レオ・ツェー次席代表、吉田寛代表取締役）

## アジアフォーラム2025 in 新潟 開催に向けた広報活動に奮闘

このたびアジアフォーラム2025 in 新潟の開催にあたり、吉田会長自らが国内の各協会を訪問し、また県内の関係者との商談に足を運びながら、フォーラムの広報活動に尽力してきました。新潟県内では、花角県知事、新潟市の井崎副市長、新潟商工会議所、新潟経済同友会等、多方面より全面的にバックアップをいただいております。新潟県民は保守的な一面があると言われるますが、その一方で忍耐力や粘り強さを持ち合わせています。このフォーラムを通じて、そうした新潟の特性を海外の皆様にも知っていただける機会になれば嬉しく思います。また、新潟は決して大都会ではありませんが、どこか落ち着く、アットホームな雰囲気があります。そんな新潟らしさを活かし、参加者の皆様にとって心温まるフォーラムを実現したいと考えております。次号では、フォーラム開催の様子を詳しくご報告いたしますので、ぜひご期待ください。





## 高知日本香港協会 事務局長 横山 公大

良い季節を迎えました。各協会の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。飛龍愛読者の中には、NHK連続テレビ小説をご覧の方も多くいらっしゃると思いますが、この3月31日から放映されている『あんぱん』は、高知出身の漫画家、やなせたかしさんと、その妻、暢（のぶ）さんの人生を描いた愛と勇気の物語。皆さまご存知のアンパンマンは長きにわたる不動の人気アニメであり、世界中の子どもたちが大好きなキャラクターであります。高知では、豪快で頑固一徹、気骨のある男性を「いごっそう」、男勝りで負けん気が強く気立てのいい女性を「はちきん」と呼びます。主人公を務めるのは今最も人気の女優である暢役、今田美桜さん、やなせたかし役にはこちらも人気俳優の北村匠海さん。その他のキャストもそうそうたる顔ぶれであり、最終回まで楽しみでなりません。

この『あんぱん』放映を機に、高知県の香美市、南国市、香南市をはじめとした県下各地で、広域なイベントも随時開催されます。皆さんも是非ドラマをご覧いただき、高知に訪れてみてください。

### 春節セミナー

さて、高知協会では毎年恒例の春節セミナーを3月10日に開催いたしました。

香港貿易発展局よりベンジャミン・ヤウ日本首席代表、香港経済貿易代表部より、レオ・ツェー次席代表をお迎えし、春節セミナーでは「訪日インバウンドで深化する高知と香港」と題し、Japan Tourism Research & Consultancy Limited 清水泰正代表取締役にご講演を賜りました。

香港の優位性について、インバウンドにおける4つの世界一を紹介いただき、①訪日者数の比率世界一、②リピーター率世界一、③1日1人あたりの消費額世界一、④年間海外旅行支出世界一などの数字に参加者からも称賛の声があがりました。①については実に、2.8人に1



森本会長挨拶



春節セミナー



新潟香港協会吉田会長のPR

人が訪日されており、②のリピーターにおいては10回以上訪れた方が37.1%と驚異的な数字。③では1人1日31,708円の消費額、④では3,586米ドルと、どれもが驚きの数値でした。また香港から日本への来訪に関しては、生涯訪日経験回数5回以上の割合が約65%とされており、香港と日本の親和性を改めて感じた次第です。

そして高知と香港の現状では、年々来高者が増えているとはいえ、まだまだ数字としては国内でも下位に位置しており、今後更なる連携強化が必要であります。特にブランディングに関しては、高知といえば〇〇というイメージ付けが必要であり、県内の様々な分野の方々と協力すべき課題だと感じました。

また今後の有望セグメントに関しては、ウエディング、ペットマーケット、シニアマーケットが取り上げられ、ウエディングではリーガルウエディング（海外での挙式）においては日本が人気ナンバー1とのことで、自然豊かな高知においてもこれからの可能性を感じました。香港はインバウンドの実験室という清水代表取締役の締めくくりの言葉がありましたが、香港との良好な関係性をさらに活かして行きたいと強く感じた春節セミナーとなりました。

春節セミナー後には、この日のためにわざわざお越しいただいた、新潟香港協会、吉田至夫会長より、本年5月21日～23日に開催される「アジア・フォーラム2025 in新潟」の開催PRがあり、なんと大阪関西万博のチケットもいただけるという魅力的なプラン。高知協会からも動員に向けて取り組んでまいります。



懇親会の様子

今回の春節セミナーでは3社の入会申し込みもいただき、大変盛り上がった会となりました。新年度を迎え国内においては万博開催を含め賑わいを感じる1年になりそうです。各協会の皆さまにおかれましても良い年度となりますようご祈念申し上げます。



# 飛龍

URL <http://www.jhks.gr.jp>

日本香港協会全国連合会 電話 (03) 5210-5901  
〒102-0083 千代田区麹町3-4-5 トラスティ麹町ビル6階  
香港貿易發展局内

NPO法人日本香港協会（東京） 電話 (03) 5210-5870  
〒102-0083 千代田区麹町3-4-5 トラスティ麹町ビル6階  
香港貿易發展局内

関西日本香港協会 電話 (06) 4705-7030  
〒541-0052 大阪市中央区安土町2-3-13 大阪国際ビルディング10階  
香港貿易發展局内

中部日本香港協会 電話 (0533) 77-2468  
〒441-0304 豊川市御津町佐脇浜3号地1-27 株式会社平松食品内

九州日本香港協会 電話 (092) 260-3748  
〒810-8629 福岡市博多区中洲2丁目6-10 株式会社ふくや内

山形日本香港協会 電話 (023) 665-1310  
〒990-2301 山形市蔵王温泉丈二田752-2  
ユニテ蔵王ジョーニダ・リゾート内

北海道日本香港協会 電話 (011) 261-4288  
〒060-8661 札幌市中央区大通西3-7 北洋銀行国際部内

宮城日本香港協会 電話 (022) 226-7025  
〒980-0021 仙台市青葉区中央1丁目6-18 山一仙台中央ビル8階  
株式会社Sola.com内

沖縄日本香港協会 電話 (098) 8686-3758  
〒900-0033 那覇市久米2-2-10 那覇商工会議所内

広島日本香港協会 電話 (082) 248-1400  
〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ4階  
ひろしま産業振興機構 国際ビジネス支援センター内

新潟日本香港協会 電話 (025) 365-1250  
〒951-8065 新潟市中央区東堀通一番町494-3 2階 愛宕商事株式会社内

高知日本香港協会 電話 (088) 855-9570  
〒780-0056 高知市北本町4-4-7 パールマンション1301  
株式会社オトル内

旅をするなら?もちろんGBAで!



## 自由に選べるフライトをご希望なら GBA!

豊富な品揃えの機内食の中からお好みのものをオーダー。

フライト中には、ご自身でタブレットにダウンロードした映画を見たり、お気に入りの本を持ち込んでデジタルデトックスを楽しんだり。。。

GBAの旅は『十人十色』、様々なお客様に対応しています。

親切なクルーと評判のグレーターベイ航空で香港旅行をご体験ください。

成田、関空、米子、徳島、仙台から香港へひとつ飛び!  
(2025年5月現在)

